

# ふるさと 通信員だより

vol.188



私が町内の身近な  
話題を紹介します♪

たかだ てつこ  
高田徹子通信員

このコーナーでは、ふるさと通信員が取材した身近な地域的话题を紹介しします。なお、町では通信員を募集しています(活動はボランティアでお願いしています)。広報活動に興味のある人は、役場広報広聴課広報係(内線216)にご連絡ください。



音更町更生保護女性会(高田徹子会長、会員37人)は、今年3月で閉校となる昭和小学校(大庭奈穂子校長、児童13人)を訪れ、子どもたちにむかし遊びを伝承しました。同会が、手作りしたお手玉やぶんぶんコマ、竹割りなど8種類の遊具を持参して、子どもたちに遊びのコツなどを指導しました。特に人気だったチラシで作るパッチでは、「やあー」「えいー」と掛け声をかけて対戦。武藤聖晴君(6年)は「パッチの全部倒すのが楽しかった」と頬を赤くして感想を話してくれました。歓声と笑顔があふれ、温かい交流の時間が流れていました。



## むかし遊びに歓声



老人クラブ南部福寿会(小笠原勇会長、会員43人)が「特殊詐欺」についての講座を福祉センターで開催しました。講師に帯広信用金庫出前講座委託講師の嵐勉さんを招き、詐欺の手口や高齢者被害の実態と実例を交えながら楽しく紹介していただきました。令和元年の、道内での認知件数は160件、被害額は約4億1千6百万円でした。どんどん巧妙になる詐欺から身を守る対策として、電話帳から名前を削除する、自宅にいても留守電にしておく、合言葉を決めておくなど日頃の心掛けが大切と説明していました。



## だまされないために